

今津港湾荷役株式会社 120年史



since
1902 ▶ 2022

今津港湾荷役株式会社 120 年史

会長 ごあいさつ



創業者である私の祖父は、1887年（明治20年）今津村の貧しい農家の四男に生まれました。貧しさゆえに読み書きも習えずに、幼い頃より大阪の吉原定次郎商店（後の吉原製油株式会社）に丁稚奉公に行きました。その後成長し、1902年（明治35年）浅尾組として独立。吉原商店の仕事を請け負い、その働きぶりが店主である定次郎翁に認められ、1929年（昭和4年）吉原定次郎商店が帝国油脂を買収し、祖父の生まれ在所でもある今津での沿岸荷役を、1933年（昭和8年）祖父46歳の時に正式に任されたのが当社の始まりであり

ります。

祖父は私が11歳の時に亡くなりましたが、体が大きく寡黙で、子ども心に怖い思い出しかありません。祖父に仕えていた人たちに当時のことを聞きますと、力が強く仕事に厳格で、荷役道具はロープ一本までどこにあるのかを覚えていた人のようです。

そして、私の父は終戦の2年後、1947年（昭和22年）に復員し家業を継承。その年の7月に今津港湾荷役合資会社と社名を変更したことでより精力的に仕事に励み、お陰様で吉原製油株式会社（現・株式会社J-オイルミルズ様）、小野田セメント株式会社（現・太平洋セメント株式会社様）などの仕事を請け負い、今日まで来させていただいておりますことに感謝申し上げます。

その後、1984年（昭和59年）、私が35歳の時に父から社長を引き継ぎました。その時代は我々の親が戦前戦後を生き抜き、我々団塊の世代と言われる子どもが成長し、代替わりしていく時代でありました。また新しい平成へと移行する時代でもあり、古い体質からの脱却など微力ながら尽くしてまいりました。しかし、古希を迎え、この時代を生き抜くためには、私が父と交代をしたように変わらなければ、これからの経営は成り立たないとの考えに至り、2019年（令和元年）、永田克也社長にバトンを引き継ぎました。

今後は、お取引先様のさらなるご厚情を賜りながら、今津港湾荷役株式会社が成長してまいりよう、社長を支えていくのが私の責務だと思っております。最後に、私の社長時代、私を支えてくださいましたお取引先各位には、心より厚く御礼申し上げます。そして、今津港湾グループの従業員各位には、日頃の協力に感謝するとともに、お取引先様のご期待に添えるよう精一杯業務に励んでいただき、新社長を盛り立てていただきますよう、お願いを申し上げ、社史編纂のご挨拶とさせていただきます。

今津港湾荷役株式会社

会長 浅尾 文 昭

社長 ごあいさつ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今津港湾荷役株式会社は、昨年度に創立 120 周年を迎えました。この記念すべき 120 年という節目の年を迎えることができましたのも、これまで様々な形で支えてきて下さったお客様、ご関係の皆様のご指導とお力添えのおかげと深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

私は 1995 年（平成 7 年）阪神淡路大震災の年に入社致しました。被災された町並み、波打つ道路、瓦礫を運ぶトラックの行列、初めて見る光景を横目に阪神久寿川駅から徒歩で出社しました。当時弊

社の商材が、激動の復興に僅かでも寄与できた事、私個人にとって短期間で多くの経験をさせて頂いたことは忘れようありません。数十年かかると言われていた復興も、数年で街並みはきれいになりました。家族的な諸先輩方に囲まれ、当時経験させて頂いたことが現在の私の基本であり、後輩たちへ繋いでいきたい思いでもあります。

2019 年（令和元年）11 月、弊社代表取締役役に就任致しました。創業者家系以外で初の代表就任です。係る重責は計り知れないものがありましたが、やること出来ることは変わらない、昨日よりも今日少しでも前進できる様、目の前の課題に覚悟を持って答えていく思いで受けさせて頂きました。

120 年という長きに渡って、先人たちが築いてきた数々の伝統を胸に刻みながら、既存の枠組みや常識にとらわれず、お客様のニーズに対応出来るよう継続し前進してまいります。今度ともなお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今津港湾荷役株式会社

代表取締役 永 田 克 也



お陰様で創業 120 年。

これからもグループ会社とともに、
社会に貢献できる企業であり続けます。



目次

会長 ごあいさつ	2
社長 ごあいさつ	3
今津港湾荷役株式会社の歩み	6
グループ会社紹介	25
コラム	9・13・15





初代社長 浅尾玄之介



二代目社長 浅尾一雄



昭和 30 年代の今津港

出典：にしのみやデジタルアーカイブ

今津港湾荷役株式会社の歩み

当社の発足は、明治 35 年（西暦 1902 年）浅尾組として沿岸荷役作業・陸上小運送及び土木建築請負業を経て、昭和 8 年吉原製油株式会社西宮工場の沿岸荷役作業及び西宮工場内の、諸作業と製品等の出荷運送業務の専属業者となり、それ以来昭和 22 年 7 月の法人組織への変更をする迄の基礎を作る。



大切な働き手であった馬も軍馬として戦地に送られた。

馬の徴兵

法人組織開始
昭和 22 年 7 月～

法人組織に変更 社名を今津港湾荷役合資会社とする。

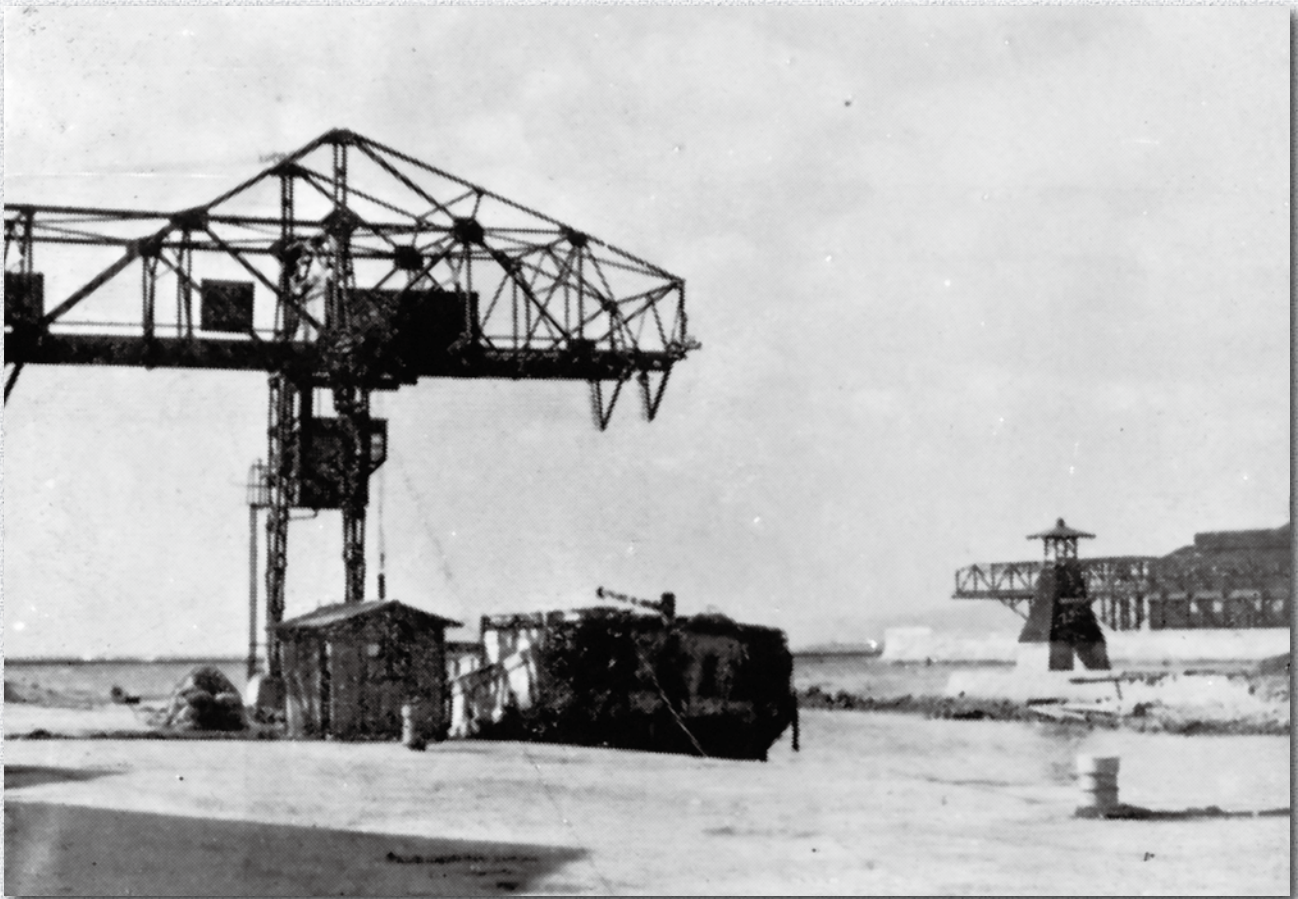


戦後もしばらくはまだ馬力も使われていた。

昭和 26 年 7 月	一般区域貨物自動車運送事業免許を取得すると共に、自動車運送取扱事業者の登録をする。
昭和 29 年 6 月	倉庫業を開始する。
昭和 34 年 11 月	倉庫業法の施行に伴い、営業倉庫業の免許申請。
昭和 34 年 12 月	小野田セメント株式会社より保管業（倉庫）及び運送業務取扱業務の指定を受ける。
昭和 37 年 1 月	運輸省より営業倉庫業の許可を受ける。

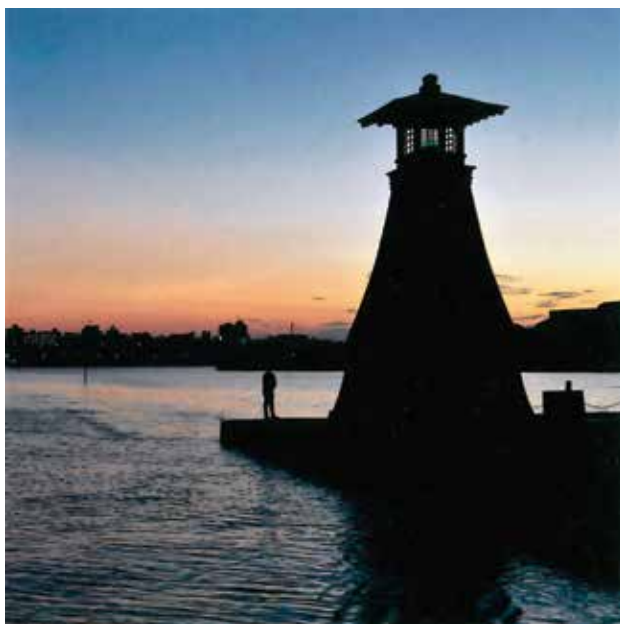


セメント倉庫



昭和 27 年頃の今津港（右に見えるのは今津灯台）
手前にあるのはガントリークレーン

出典：西宮市商工名鑑



「大関今津灯台」

～未来を灯らす酒造商人の心意気～

丹波地方で採れる酒造りに適した米、六甲山からの伏流水（宮水）に恵まれ、江戸への輸送に便利な港であったことから、今津郷は日本有数の酒どころとして栄えてきました。

1824 年（文政 7 年）酒造家の長部家（現在の大関）の 5 代目長部長兵衛は、樽廻船や漁船の海路安全を願い、私費を投じて「大関今津灯台」を建設しました。民間が設置した唯一の現役で機能を果たす灯台で、今津のまちの明日を灯らす希望のシンボルです。

出典：今津地域まちづくり紹介冊子『いまづまい』



大豆、菜種等のバラ積み原料の水揚げ



袋物 食油原料の水揚げ





生でん粉のトラック積込



砂・ジャリの水揚げ



袋詰め作業



荷揚風景



油粕の水揚げ風景



三輪車用パイラーにて積み下ろし





油粕オート三輪積込み



油粕出荷前の貨物の計量



「今津港」

～今津の玄関口、歴史はここから始まった～

今津は、1793 年（寛政 5 年）の築港以前から漁業が盛んで、酒の積み出しも行われていました。

築港と言っても新しく港を開いたという意味ではなく、従来の港を改良したものでした。

今津港は、今も昔も、報徳学園のグラウンド付近にあった鯨池を水源として流れて来た新川の河口を利用したものでした。

築港以前は、現在の直角に曲がって海に注ぎ込む形ではなく、新川はまっすぐ西に進み、一旦東川に合流して海につながっていました。

今津港築港により、遠回りで不便だった航路を、最短距離で海に出られるように水路を開削したものが現在の形で残っています。更に、その水路が海に出る部分に、築港 17 年後の 1810 年（文化 7 年）に建てられたのが大関今津灯台です。

出典：今津地域まちづくり紹介冊子『いまづまい』



綿の中の種子（綿実油^{めんじつゆ}の原料）を取り出す作業



リンター（綿の短繊維）の積み込み 1つ 200kg



今津社前町 社宅 九州からの運転手増加により建設



大東町 独身寮

この他 2 つの社宅があり、平成初期まで計 4 つの社宅があった。

酒のまちとして栄えた港“今津”

今津は江戸幕府の天領として農地が広がる地域でありながら、港町として商業が発展した地域でした。早くから町として発達し、農地が広がり六甲山系より良質な水が流れ出ていたため、江戸時代には酒造りが盛んでした。江戸時代中期以降、航海技術の向上による海路運送が発達しました。今津地域は更に酒造りが盛んになり、大坂屋（現：大関）等の名のある造り酒屋がたくさんうまれました。

出典：今津地域まちづくり紹介冊子『いまづまい』

昭和 37 年 6 月	小野田セメント株式会社 堺サービス・ステーションが開設されると同時に、堺 S・S 内の工場管理及び出入庫管理並びに輸送業務の一切を委託される。これに伴い当社も堺 S・S 内に堺営業所を開設する。
昭和 38 年 7 月	堺営業所に貨物自動車運送事業（限定）の許可を受ける。
昭和 39 年 4 月	堺小野田レミコン株式会社（現堺レミコン株）の設立に伴い、同社専属の生コンクリート輸送業者となる。
昭和 39 年 9 月	小野田セメント株式会社のセメント、生コンクリート及びセメント関連製品の特約販売店指名を受ける。
昭和 40 年 4 月	関電化工株式会社（旧関電フライアッシュ株）のフライアッシュの運送を受注、生コンクリート工場等への納入を開始し当時の山陽新幹線建設の各工事現場への輸送も行う。



（当時）小野田セメント株式会社堺 S・S 設立当所、事務所内に今津港湾荷役資堺営業所として入る。



堺 S・S セメントサイロ
5000t 2 基

昭和 42 年 1 月

本社関係の運送部門を分離。運送専門の今津陸運株式会社を設立し、一般区域貨物自動車運送事業の免許を譲渡する。



今津港町 今津陸運事務所



今津港町 車庫



昭和 44 年 4 月

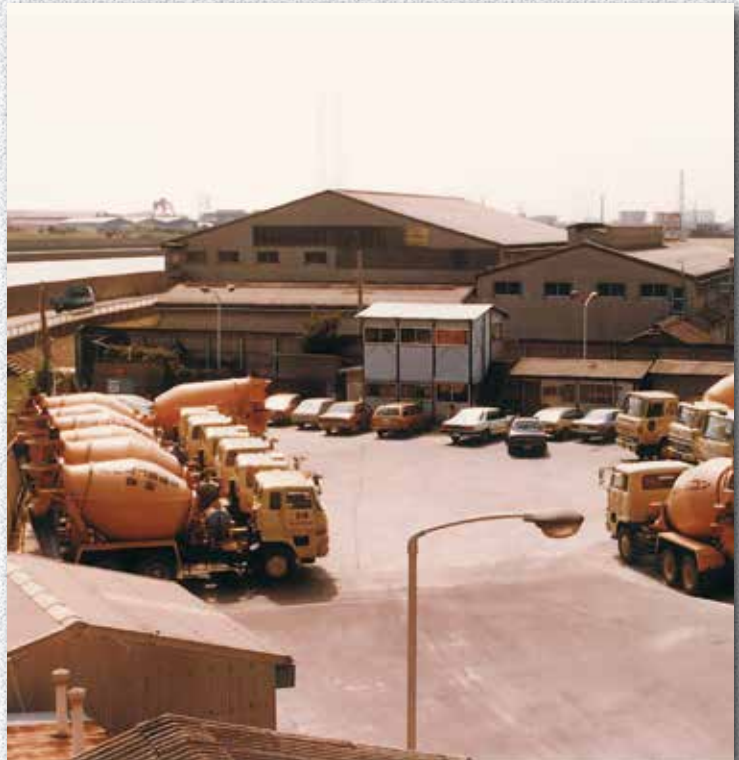
小野田セメント株式会社 和歌山サービス・ステーションが開設されると同時に、和歌山 S・S の工場管理及び入出庫管理並びに輸送業務の一切を委託される。これに伴い当社も和歌山 S・S 内に和歌山出張所を開設する。



和歌山 S・S
(現在 和歌山湊 S・S)



昭和 44 年 7 月	西部化学小野田レミコン株式会社（当時小野田レミコン株）の設立に伴い、同社専属の生コンクリート輸送業者となると共に尼崎出張所を設置する。
昭和 50 年 4 月	関電化工株式会社の専属運送業者となる。
昭和 55 年 7 月	和歌山今津株式会社を設立し当社の和歌山出張所の業務をする。



生コンクリート製造プラント

昭和 56 年 3 月	マリン事業部を新設し、小型船舶の売買・管理・保管・修理業務を始める。
-------------	------------------------------------



昭和 59 年 1 月	小野田セメント株式会社 由良サービス・ステーションが開設されると同時に、由良 S・S の工場管理及び入出庫管理並びに輸送業務の一切を委託される。これに伴い当社も由良 S・S 内に由良出張所を開設し、その業務を和歌山今津株式会社に委託する。
昭和 62 年 4 月	大阪今津株式会社（一般区域貨物自動車運送事業免許）を設立し堺営業所及び尼崎出張所の業務を委託する。
昭和 62 年 5 月	関電化工株式会社 高砂サイロ開設に伴い、管理・輸送業務の委託を受けるに当たり、当社高砂出張所開設し、その業務を大阪今津株式会社に委託する。
平成 2 年 6 月	株式会社アサオサービスを設立。
平成 2 年 10 月	株式会社アサオサービスと今津港湾荷役合資会社と合併、今津港湾荷役株式会社と社名変更する。



由良 S・S



平成 12 年 3 月	今津生コン輸送株式会社を設立。尼崎小野田レミコン株式会社の専属輸送会社として、一般貨物自動車運送事業を開始。
平成 19 年 4 月	今津生コン株式会社に商号を変更。尼崎小野田レミコン株式会社より事業を承継する。
令和 4 年 (2022 年)	今津港湾荷役株式会社 創業 120 周年を迎え、現在に至る。

本社建て替え 昭和 59 年 [1984 年]

旧社屋



昭和 59 年 6 月 20 日 地鎮祭



昭和 59 年 10 月 25 日 竣工



新社屋

85 周年記念式典

〔1987 年（昭和 62 年）〕



85 周年 永年勤続表彰者

90 周年記念式典

〔1992 年（平成 4 年）〕



年 表

当社のこれまでの歩み

世の中の動き

1902 年	浅尾組として発足。	1900	1903 年	日本で初となる鉄筋コンクリート造の琵琶湖疎水の橋ができる。	
			1905 年	阪神電車 神戸 - 大阪間が開業。	
			1914 年	第一次世界大戦勃発。	
		1930	1937 年	吉原製油 「ゴールデンサラダ油」発売。(綿実油)	
1933 年	吉原製油株式会社西宮工場の専属業者となる。		1939 年	第二次世界大戦勃発。	
		1940	1947 年	日本国憲法が施行され、労働基準法、 独占禁止法、職業安定法など産業や 経済の枠組みを規定する法制が整えられる。	
1947 年	今津港湾荷役合資会社に社名変更。		1950	1951 年	ビルブームが起こり、セメント生産量が 史上最高になる。
		1960	1964 年	東京オリンピック開催。(アジア初の開催)	
1962 年	小野田セメント株式会社 堺 S.S 内に堺営業所を開設。		1969 年	「アポロ 11 号」が月面着陸。 人類が初めて月を歩く。	
1967 年	今津陸運株式会社を設立。		1970	1970 年	大阪で日本万国博覧会開幕。
1969 年	小野田セメント株式会社 和歌山 S.S 内に和歌山出張所を開設。			1972 年	山陽新幹線 新大阪 - 岡山間が開業。
1980 年	和歌山今津株式会社を設立。		1980	1981 年	神戸で博覧会「ポートピア'81」開幕。
1983 年	マリン事業部を設立。			1984 年	日経平均株価が初めて 1 万円を突破。
1984 年	小野田セメント株式会社 由良 S.S 内に由良出張所を開設。 社屋立替		1990	1990 年	バブル経済崩壊。
1987 年	大阪今津株式会社を設立。 創業 85 周年記念式典			1995 年	阪神淡路大震災。
1990 年	今津港湾荷役株式会社に社名変更		2000	2001 年	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開業。
1992 年	創業 90 周年記念式典			2008 年	米「リーマン・ブラザーズ」経営破綻。 世界金融危機始まる。
2000 年	今津生コン輸送株式会社を設立。		2010	2010 年	阪神甲子園球場リニューアル。
2007 年	今津生コン株式会社に社名変更。			2011 年	東日本大震災。
				2020 年	WHO 新型コロナウイルスのパンデミックを表明。
				2021 年	東京 2020 オリンピック開催
2022 年	創業 120 周年を迎える。			2022 年	ロシアによるウクライナ侵略開始。

(社名は当時の名称)

グループ会社紹介

○大阪今津株式会社

所在地	大阪府堺市堺区築港南町 8 番地 太平洋セメント株式会社 堺サービスステーション内
代表者	代表取締役 北 岡 守
事業内容	1. 一般貨物自動車運送事業 2. 自動車運送取扱事業 3. 建設材業の販売業 4. 建設機械並びにセメント保管容器の製作・賃貸及び販売業 5. 上記に附帯する一切の業務

○和歌山今津株式会社

所在地	和歌山県日高郡由良町大字阿戸字白木 1004 太平洋セメント株式会社 由良サービスステーション内
代表者	代表取締役 北 岡 守
事業内容	1. 特定貨物自動車運送事業 2. 前号に附帯する一切の業務

○今津陸運株式会社

所在地	兵庫県西宮市西宮浜 2 丁目 10 番地 3
代表者	代表取締役 吉 良 康 幸
事業内容	1. 一般貨物自動車運送事業 2. 土地建物の売買及び賃貸並びに管理 3. 有価証券の保有並びに売買 4. 上記各号に附帯する一切の業務



○今津生コン株式会社

所在地	兵庫県尼崎市東初島町 3 番地
代表者	代表取締役 永 田 克 也
事業内容	1. 一般貨物自動車運送事業 2. 生コンクリート製造並びに販売 3. セメント関連商品の販売



編集後記

当社は、1902 年（明治 35 年）に私の曾祖父・浅尾玄之介が浅尾組として仕事を始めたことをもって創業としており、昨年、創業 120 周年を迎えました。

その間の今日に至るまでの先人の努力や会社の成長発展の足跡をたどり、それを次の世代に伝え残したいとの思いから社史『120 年史』を発刊することといたしました。

何分にも 120 年目に初めて社史をつくるということですので、資料不足をはじめとして最初から最後まで困惑することの連続でしたが、完成にたどり着けて安堵しております。

当社の 120 年間は、戦争や大震災もあり、一企業の力ではどうにもならないような局面が多々あったようですが、その時どきの経営陣と社員たちの英知を結集しながら、まさに紆余曲折を経て今日を迎えています。

その長い道のりの全てを網羅することはできませんでしたが、幸いにも浅尾文昭会長の協力を得ることができ、その記憶を頼りとして編纂を進めることができました。

この『120 年史』が、現在、未来の経営者、社員はもとより、当社とご縁のある皆様方につきましては本書をご覧くださいことで当社へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

当社は、創業時から今日まで、この今津の地を一步も離れることなく、経営をしてまいりました。今日の当社があるのは地元の皆様のご愛顧の賜物です。このことを決して忘れず、今後もお客様はもちろん、地元の皆様への感謝の気持ちを持ち続けて、社会への貢献に励んで参る所存です。

最後になりましたが、制作にあたってご協力いただきました方々に心よりお礼を申し上げます。この先、未来の人々がこの 120 年史をどのような思いで読むだろうと考えるとき、ここで社史をつくってよかったという気持ちが湧いてきます。貴重な仕事をさせていただいたことに感謝いたします。



今津港湾荷役株式会社

専務取締役 浅 尾 典 子

会社概要

商号 今津港湾荷役株式会社
代表者 代表取締役 永田克也
所在地 〒663-8225 兵庫県西宮市今津西浜町2番16号
TEL 0798-34-1221 (代)
FAX 0798-34-1226

事業内容

セメント、生コンクリート、セメント関連二次製品及び、建設関連資材の販売、
マリーナ施設の経営

マリン事業部

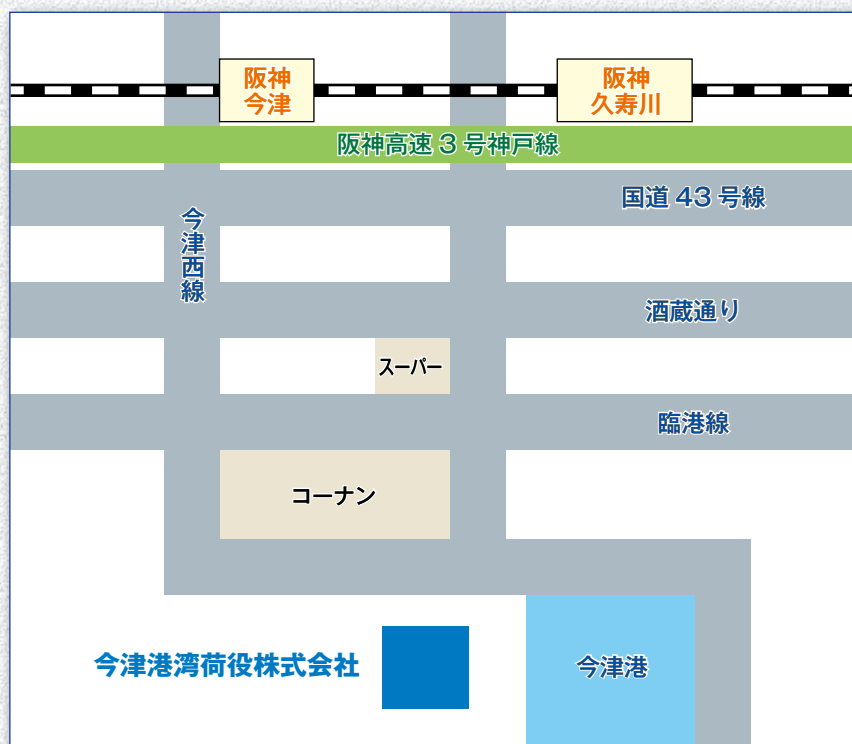
今津パワーボートセンター

ハーバースター 高津博昭

所在地 〒663-8225 兵庫県西宮市今津西浜町2番16号
TEL 0798-34-1290
FAX 0798-36-8615

事業内容

ヨット、クルーザー、ジェットスキーの艇置、保管、上下架業務
燃料給油、修理、船底作業等



発行所 今津港湾荷役株式会社
編集 星光商事株式会社
印刷・製本 奥村印刷株式会社

